

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 8名回答、回答率 100%
保護者様： 20名回答、回答率 74%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・人員体制では、基準以上の職員を配置することが出来ている。
- ・職員全員が児童指導員資格、または保育士資格を所有しており専門的な療育が出来ている。

○業務改善

- ・半期に一度、すべての職員が振り返りシートを作成し、業務への取り組みの振り返りを行っている。また、座学やロールプレイなどの研修を本社や教室内で行い、業務改善に取り組んでいる。

○適切な支援の提供

- ・児童発達支援管理責任者を中心に、職員の意見と利用児童の思いを反映させた個別支援計画をもとに支援にあたっている。また、毎日業務前ミーティングを行い、前日の申し送りや、当日の流れや利用児童生徒の様子等の周知を行っている。

○関係機関や保護者との連携

- 送迎の際や毎日のサービス提供記録などで利用児童生徒のご様子を保護者にお伝えし、ニュースレターでより具体的に伝わるように努力をしている。
- 相談支援専門員と連携を取りながら担当者会議などに参加している。

○保護者への説明責任等

- ・利用契約時に重要事項説明書に基づきサービス内容や加算単位等について説明を行っている。また、保護者会を半年に一回を目途に開催しており保護者間での交流の機会をつくっている。

○非常時等の対応

- ・安全管理マニュアルや送迎マニュアルを整備し、緊急時に備えている。また、月一回は必ず避難訓練を療育活動に取り入れ、スタッフと共に利用児童の安全管理意識の向上につなげている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・仕方ない部分も多いかと思う。
- ・配置数や専門性を知らない。
- ・対応の仕方が子どもと合わない方がいる。
- ・入れ替わりが多いのが少し気になる。

○適切な支援の提供

(放課後児童クラブや児童館との交流、障害のない子供と活動する機会について)

- ・交流級があるので特に希望していません。
- ・私は必要ないかと思えます。

○保護者への説明等

(保護者会について)

- ・こちら(保護者)が多忙を理由におろそかになってしまって申し訳ない。

○非常時等の対応

- ・ご意見はなかったが、非常時のマニュアルや定期的な避難訓練の実施については周知していただいている。

○満足度

おおむね満足との評価をいただいたが一部以下のようなご意見もいただいている。

- ・物足りなさを感じ始めている
- ・大人から見ていると「これは…」と思う場面も楽しんでいる。
- ・人によって対応が丁寧だったり、そうでなかったりすることは気がかりである。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・送迎の際に、今日の児童の体調から、どんなことを行ったのかを必ずお話しするようにする。
- ・保護者からの要望は当日中に教室内に周知できるようメモの書式を送迎時に用いる。
- ・療育活動について、他教室との交流や、合同の課外活動などの画策を行う。
- ・祝日開室の際には、出来るだけ外出の機会を設ける。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・送迎時の会話は必ず時間をとって行うようにした。送迎の時間を余裕を持たせて取り組めるようにすることはまだ課題として残っている。
- ・保護者からの要望はすぐに職員間で共有できるよう、ツールを用意した。
- ・他教室との合同での昼食などの機会を用意したが、企画数が少なかった。
- ・祝祭日の開室の際には、公園や外食の機会を多く設けることができた。



アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・利用児童の希望を反映させた支援計画の作成とそれに基づく支援、活動プログラムの工夫により、通所を楽しみにしている児童が多い

○改善点

- ・職員間での情報共有が不十分で、支援や保護者説明の場における職員間での差が生じている
- ・スタッフの定着が図れていない



中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・スタッフの専門性、知識の向上を図るために内部研修、外部研修の回数を増やし、療育の質の向上を目指す。
- ・子ども一人一人、各ご家庭においてしっかりとした説明責任、個別の支援を果たすことで、満足感の維持、向上を目指す。
- ・より良い教室となるようにスタッフ一人ひとりが活躍できる教室づくりを行う。

○1年間で取り組む具体策

- ・内部研修、外部研修の機会の確保、およびその奨励を行う。
- ・教室長、常勤指導員が児童の送迎に積極的に参加することで、直接保護者の方のお話を聞ける機会を用意する。その際、現状の課題や様子についての共有を行い、より個別の支援に生かせるように留意する。
- ・スタッフ各個人が得意としていることを集団療育や教室業務に生かせるように、スタッフの配置や業務分担を工夫する。また、振り返りを行い、自信を持って取り組めるようにしていく。

スマートキッズ